

「人・農地プラン」の現状と課題

地域の動向をふまえた課題を探る

新たな政策としてスタートした「人・農地プラン」は、「TPP参加の受け皿づくり」としての選別政策の側面をもつとともに、「すべての農業者」を対象にした非選別政策の側面をあわせ持った政策だといえます。

政権交代から3年、自民党農政からの「継承」と「決別」の狭間で揺れる農政が、現実の農業・農村が直面する課題にどのように迫るものなのか、その打開の方向を描くものになっているのか、現場の受け止めや動向をふまえて、その問題点と今後の課題を探ります。

と き 12月8日(土) 13時00分～16時30分

ところ 東京・新宿・新宿農協会館7階会議室

報 告 1 「人・農地プラン」の現状と課題(仮題)

全国農業会議所 柚木 茂夫氏

2 「人・農地プラン」の現実～上越地域の動向から

新潟県えちご上越農協 布施 辰夫氏

3 「6次産業化」の現実～下郷農協の実践をふまえて

大分県下郷農協 松本 聡雄氏

会員外の方は参加費500円を申し受けます(会員団体構成員も無料)。

農業・農協問題研究所

東京都渋谷区代々木2-5-5 新宿農協会館803 TEL03(3320)4945

E-mail noh@mtb.biglobe.ne.jp